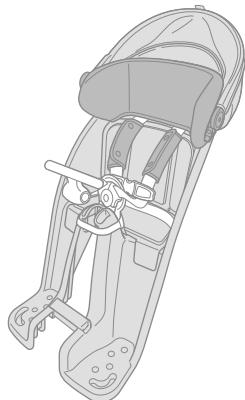


お客様へ

販売店様へ

Panasonic®



組立・取扱説明書

クルームフロントシート

NCD489S

品番 NCD490S

この組立・取扱説明書は大切に保管してください。

販売店様へ

本紙ではチャイルドシート(前用)の組み立て方法と使用上の注意について説明しています。よくお読みのうえ、正しく組み立ていただき、お客様に安全上のご注意と取扱い方法を説明の上、お客様によくお読みいただくようご指導いただき、組立後はお客様に手渡していただきますようお願い申し上げます。

お客様へ

- ご使用まえに「安全上のご注意」(下記～5ページ)を必ずお読みください。
- ご使用の際は、本紙とあわせて、パナソニック製電動アシスト自転車本体の取扱説明書をよくお読みください。
- イラストはイメージ図を使用しています。形状やデザインが実際と異なる場合があります。
- 適合自転車、幼児の適用範囲の記載および取扱説明書の記載を守らない場合には、SGマーク制度の賠償対象外になるおそれがあります。
- SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
(新品で購入した日より3年間)
- 小学生以上の児童を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償対象外となるおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください。お客様、販売店様、両方がご確認ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

お願い

- 本製品は自転車用のチャイルドシートです。ほかの目的に使用しないでください。
- 自転車の交通法規を守ってください。
- 装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行してください。
- 幼児にはヘルメットを着用させてください。
- 取付作業は販売店で行ってください。
- チャイルドシートを雨ざらしにしないでください。
- 悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。
- 火気高温に近づけないでください。
- 汚れは水を含ませた雑巾などでふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは付着させないでください。

安全上のご注意

お客様がご確認ください

お知らせ

- 本チャイルドシートの質量は約 3.8 kg です。(付属部品含む)
- 16 歳未満の方は、幼児を乗せて使用することは法令で禁止されています。
- 自転車に取り付けられるチャイルドシートは、一般車で1つ、幼児 2 人同乗用自転車で前後に各1つに限ります。
- ギュットシリーズ(幼児 2 人同乗用自転車)以外の自転車に取り付けるチャイルドシートは、1つに限ります。
- 適用体重は、体重 8 kg 以上 15 kg 以下 です。
- 乗せることができるのは、年齢 1 歳(12 か月) 以上 4 歳(48 か月) 未満、身長 70cm 以上 100 cm 以下です。
- 幼児を乗せる場合は、ハンドルがふらつき、不安定になる場合があります(特に、発進時、低速走行時、カーブや下り坂での走行時、幼児が不意に動いたときなど)。また、ブレーキ操作時、制動距離が長くなります。
- 幼児を乗せて使用すると、前後ブレーキの減りが早くなります。走行のまえに、前後ブレーキが正しく作動することを確認してください。(不備がある場合は走行せず、販売店で保守点検を実施してください)
- 幼児座席を取り付けることで、ハンドルの操作角度が小さくなり、旋回時の回転半径が大きくなります。
- 本製品をご利用の際は、標準装備のバスケットを取り外さないでください。
- バスケット、ハンドルシステムは純正部品以外のものに交換しないでください。※純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合製品保証の対象外となります。
- 上記車両には、旋回抑制機構が標準装備されています、スタンドを立てて幼児を乗車させる際、ハンドルは旋回しづらくなりますのでご注意ください。

警告



必ず守る

- チャイルドシートに幼児を乗せる場合は 9 ~ 13 ページの内容に従う
(幼児が落下して、けがをするおそれ)

- 幼児の体重は、チャイルドシートが指定する最大適用体重以下であることを確認する
(適用体重を越えて乗車すると破損・折損が生じ、事故またはけがをするおそれ)

- 乗車および走行中は、自転車用ヘルメット (SG 規格認定済みヘルメット <☞ 15 ページ> と同等以上のもの) を着用させる



(幼児がけがをするおそれ)

⇒ヘルメットを着用させないでチャイルドシートに幼児を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなります。



必ず守る

- 適用年齢、体重制限、身長制限、定員を守る※

- 乗車および走行中は、必ず幼児にグリップバーを持たせ寝ないように留意する※

- 乗車および走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢を取らせる※
(幼児が落下して、けがをするおそれ)

- チャイルドシートの組み付けに際して、自転車のハンドルを上下する必要があるときは、必ず販売店に相談する
調整不良などで、ハンドルシステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- 走行中は、幼児の足が車輪に巻き込まれないよう、幼児の足は足のせ部(ステップ)に乗せる※

- 幼児を乗せるときは必ず靴をはかせる※
(幼児の足が車輪に巻き込まれたり、障害物に接触し、けがをするおそれ)

安全上のご注意

警告



必ず守る

- 使用中、幼児の手足が届く範囲に錐がある場合は、幼児が操作しないように注意する
(車輪がロックされて自転車が転倒し、けがをするおそれ)

- 幼児は荷物などよりもあとに乗せ、最初に降ろす※

- 幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ず幼児を抱いて行う。また、スタンドロックがかかっているか確認して行う※



- スタンド操作時は、ハンドルや車体をしっかりと押さえる※

- 幼児が 1 人でチャイルドシートに乗り降りしないように注意する※

※(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれ)

- 炎天下での駐輪時、チャイルドシートが熱くなっているか確認してから幼児を乗せる
(幼児がやけどするおそれ)

- 急ブレーキ、急ハンドルは避ける
(転倒や衝突によるけがのおそれ)

- 幼児を乗せるときは、安全の確保できる場所で十分練習してから乗車する

(自転車にチャイルドシートを取り付け、幼児を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけたときに距離が長くなり、バランスを崩したり、転倒によるけがのおそれ)



必ず守る

- ヘッドレストが幼児の頭部中心(耳の上)よりも高くなっているか確認する※

- ヘッドレストが確実に固定されているか確認する※
※(幼児がけがをするおそれ)

- ヘッドレストの高さ調節をしてからシートベルトの調節をする

(シートベルトの締め過ぎや緩みによる落下により、幼児がけがをするおそれ)

- クッションやカバー類は正しく使用する
(誤って使用すると、幼児がけがをするおそれ)



禁止

- 凹凸の激しいところを走らない(歩道の段差や、溝など)

(フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれ)

⇒降りて押して歩いてください。

- リム(アルミリム)に著しい摩耗のあるときは乗らない



(リムが破損し、転倒によるけがのおそれ)
⇒リム交換マークが見えなくなったら新しいリムと交換してください。

⇒交換は販売店に依頼してください。

⚠ 警告



■当社自転車専用のチャイルドシートのため、

指定外の自転車に取り付けて使用しない

(チャイルドシートが破損して、幼児がけがをする

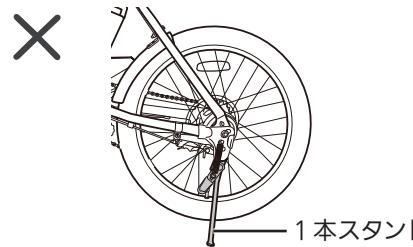
おそれ)

■チャイルドシートが、自転車に確実に取り付
けられていることを確認し、ねじの緩み・が
たつき・破損・変形などがある状態での使
用はしない※

※(チャイルドシートが脱落し、けがをするおそれ)

■チャイルドシートには荷物を載せない
(バランスを崩し、自転車が転倒し、けがをする
おそれ)■チャイルドシートに幼児を座らせている場
合、可動部や手元スイッチ、およびブレーキ
レバーに触れさせない
(車輪やギアに手足を巻き込まれたり、バランス
を崩し、自転車が転倒し、けがをするおそれ)

■1本スタンドに交換しない



1本スタンド

(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするお
それ)

⇒必ず、純正の両立スタンドをご使用ください。

■幼児にチャイルドシートの足のせ部(ステッ
プ)、フレームを踏み台にして乗り降りさせ
ない※■幼児に足のせ部(ステップ)および座面の上
に立ちあがらせない※※(足のせ部(ステップ)が変形・破損したり自転
車が倒れたりし、幼児がけがをするおそれ)■チャイルドシートには幼児は1人しか乗せ
ない※■転倒などの強い衝撃を受けたチャイルド
シートは、固定部のがたつき・変形・ひび
割れなどの異常があれば使用しない

※(幼児が落下して、けがをするおそれ)

■チャイルドシートを改造したり、不当な修理
をしない
(思わぬ事故につながり、けがをするおそれ)■幼児が乗車するときにヘッドレストを持た
せない(よじ登らせない)
(ヘッドレストを高さ調節する部品が、幼児の体
重に耐えきれず、摩耗・変形・破損したり自転車
が倒れたりし、幼児がけがをするおそれ)■チャイルドシート以外の場所に幼児を乗せ
ない※■チャイルドシートに幼児を乗せているときは、
短時間であっても、自転車から離れない※■幼児を乗せたまま駐輪しない※
※(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをする
おそれ)

グリップバーについて

■グリップバーを持って自転車を動かさない※
※(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをする
おそれ)■グリップバーが確実に固定されていること
を確認する
(幼児が落下してけがをするおそれ)

⚠ 警告

■シートベルトについて
■シートベルトが緩んだ状態で走行しない※■シートベルトに傷が付いた状態で走行しな
い※

※(幼児が落下してけがをするおそれ)

■チェストクリップの位置を高く上げ過ぎない
(シートベルトを締めたとき、幼児ののどを突き、
けがのおそれ)■幼児を乗せたらすぐにシートベルトを装着
する※■シートベルトを外したらすぐに幼児を降ろす※
※(幼児が立ったり、あはれたりすると、不安定
で自転車が転倒し、けがのおそれ)■左右の差込タングを、確実にバックルに差
し込む
(幼児が抜け出し、落下しけがをしたり、シートベ
ルトが首に巻き付き、窒息するおそれ)■チェストクリップは必ず付ける
(幼児が抜け出し、落下しけがのおそれ)■調節ベルトを引き、シートベルトを幼児の
体格に合わせ調節する
(長過ぎると幼児が飛び出しつけがをしたり、首
に巻き付き窒息するおそれ)

サンシェードについて

■強風のときはサンシェードを絶対に使用し
ない(走行および駐輪時)
(風の影響を受け転倒によるけがのおそれ)■サンシェードが確実に装着されているか確
認し、破損や不具合などがある場合はサン
シェードを絶対に使用しない
(サンシェードを車輪などに巻き込んだり、バラ
ンスを崩したりして転倒によるけがのおそれ)■走行中にサンシェードの開閉操作をしない
(バランスを崩し、接触事故などによるけがのお
それ)
⇒必ず、停車した状態で操作してください。■サンシェードに幼児をぶらさがらせない
(幼児が落下したり、けがをするおそれ)■やぶれ、すり切れ、ほつれなどが生じた場
合使用しない
(走行中にはずれ、車輪に絡まるおそれ)

必ず守る

■正しく取り付けのうえ、使用する
(取り付けが不完全な場合、自転車に巻き込み転
倒するおそれ)

本チャイルドシートの組付可能な条件

(お客様、販売店様、両方がご確認ください。)

- 本製品は下記の自転車にのみ装着できます。取り付け可能車以外に取り付けないでください。
- 取扱説明書で判断できない場合は自転車販売店に必ず相談してください。

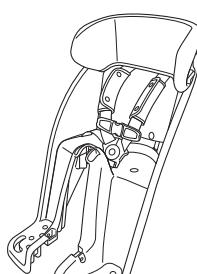
取り付け可能車種

- ギュット・クルーム・F (BE-FHD031)
- ギュット・クルーム・R・DX (BE-FRD033)
- ギュット・クルーム・R・EX (BE-FRE033)

各部のなまえ

【梱包内容】

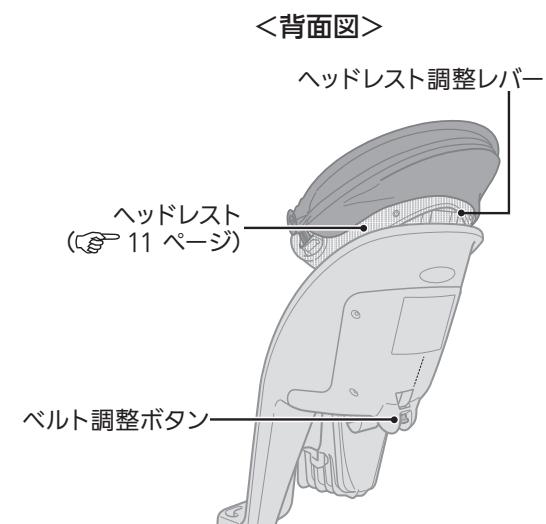
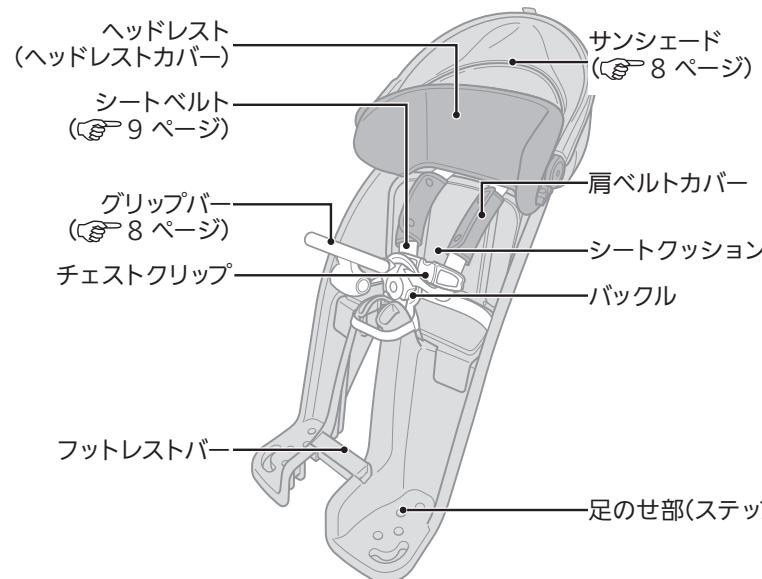
- 組立・取扱説明書(本書)



● シート本体

● 取り付け金具	● M6 ボルト&ナット 4 個 (取り付け金具用)	● シートクッション	● リベット 4 個
● グリップバー	● タッピングねじ 5個のうち 3 個使用 (グリップバー取り付け用)	● サンシェード	● M5 ボルト 4 個 (チャイルドシート取り付け用)
● フットレストバー	● タッピングねじ 5個のうち 2 個使用 (フットレストバー取り付け用)		

チャイルドシート <全体図>

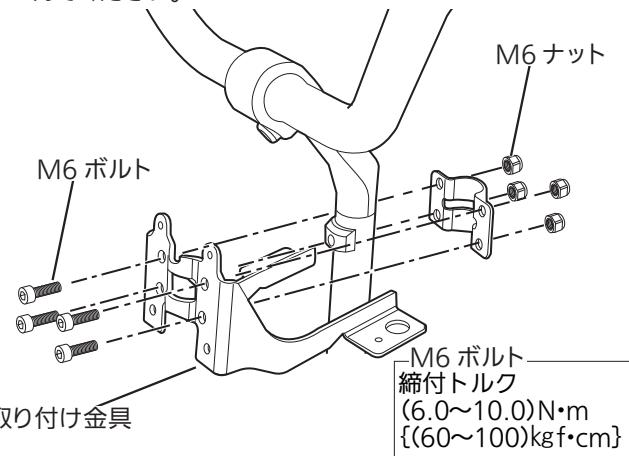


チャイルドシート本体の組み付けかた

1. チャイルドシート本体を組み付ける

- ①取り付け金具を、M6 ボルトとM6ナット 4 個で図のようにハンドルシステムに取り付ける。

※ハンドルストッパーを取り付け金具の位置決め穴にはめ込んでください。

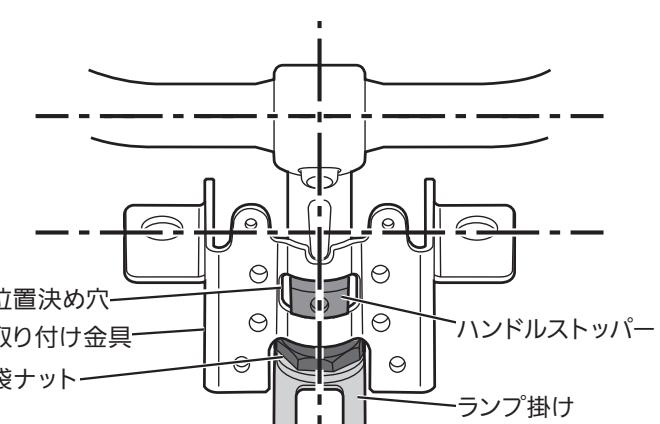


お願い

- 取り付け金具のすき間が均等になるように、上下左右交互にM6 ボルトを締め付けてください。

- ②取り付け金具を固定したらハンドルシステムは、一番下まで下げて固定する。

※ハンドルシステムを下げるとき取り付け金具が袋ナットに当たり、ランプ掛けをまたぐ構造になっています。



お願い

- 取り付け金具は、ハンドルを基準に左右対称(ハンドルと平行)になるように位置調整してください。
- チャイルドシートを取り外す際は、必ず取り付け金具も取り外してください。

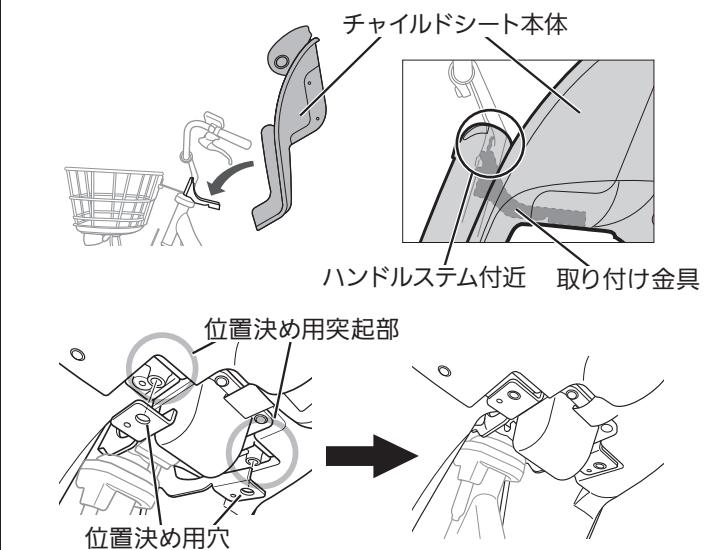
お知らせ

- 取り付け金具がランプ掛けをまたぐことで、チャイルドシートの回転防止の機能を持たせています。

③図のようにチャイルドシート本体を傾けながら取り付け金具にセットする。

※取り付け金具の位置決め用穴に、チャイルドシートの左右に設けられた位置決め用突起を差し込む。

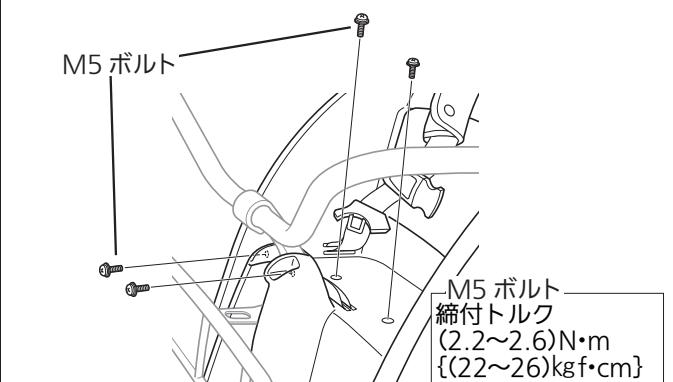
※取り付け金具のハンドルシステム付近などひっかかりなく奥まで差し込まれていることを確認する。



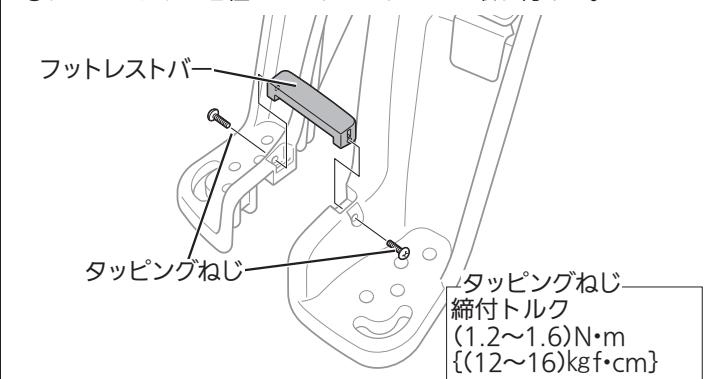
お知らせ

- バスケットに幼児座席の足のせ部が接触している場合、バスケットの取り付け位置を調整してください。バスケットと幼児座席の足のせ部の隙間は、5 ~ 10 mm開けてください。

- ④ M5 ボルト 4 個でチャイルドシート本体を固定する。



- ⑤タッピングねじ 2 個でフットレストバーを取り付ける。

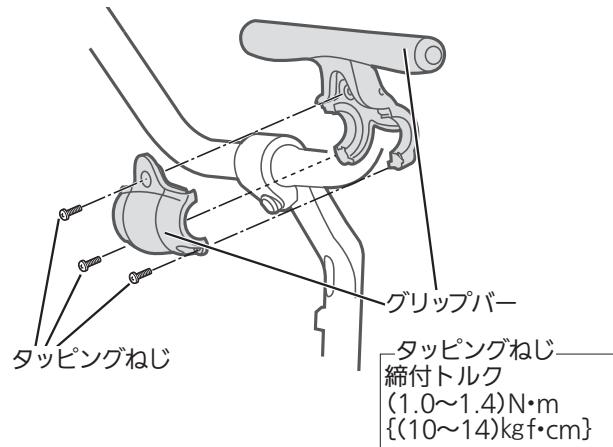


チャイルドシート本体の組み付けかた

(販売店様がご確認ください)

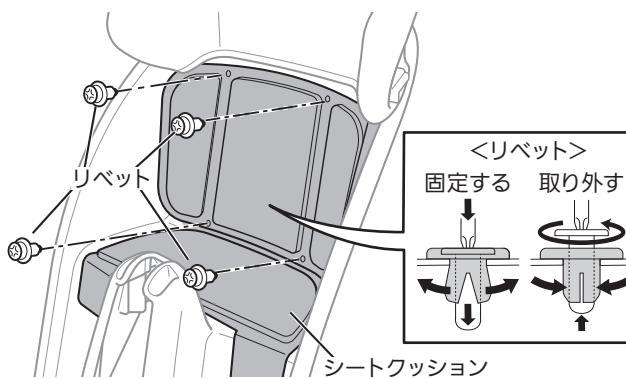
2. グリップバーを取り付ける

- ①タッピングねじ3個を使用してグリップバーを図のように組み付ける。



3. シートクッションを取り付ける

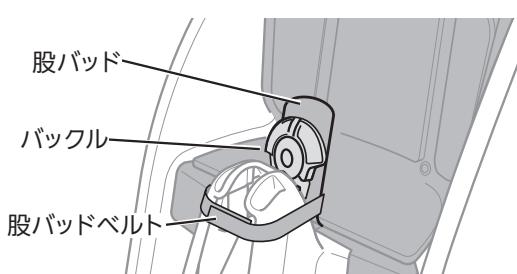
- ①リベット4個でシートクッションをシートバックに固定する。



※ リベットが差し込みづらいときは、ヘッドレストを最も高い状態にして、リベット中央部をプラスドライバーで押し込んでください。

※ リベットを取り外す際は、中央部分をプラスドライバーで半時計回りに回転させることで、中央部分が浮き上がりリベットの固定が解除されます。

- ②図のようにシートクッションの股パッドでバックルを挟みこむようにして、股パッドベルト(面ファスナー)を止める。



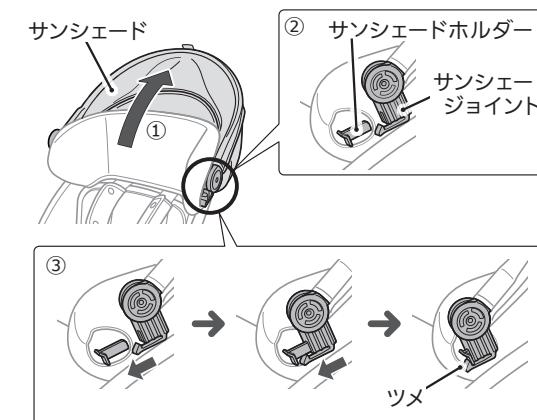
〈シートクッションの取り外しかた〉

取り付けと逆の手順で取り外す。

※先にリベット4個を取り外してからシートクッションを取り外してください。

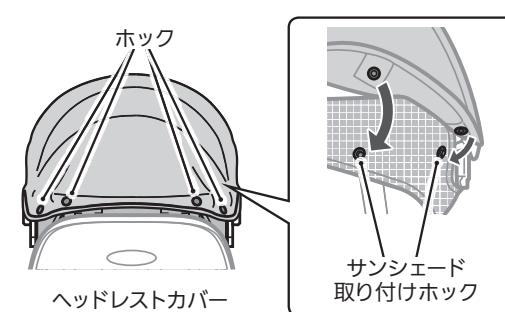
4. サンシェードを組み付ける

- ①サンシェードを小さくたたむ。
②サンシェードジョイントをヘッドレスト側面のサンシェードホルダーにあわせる。
③サンシェードジョイントの下端のツメがサンシェードホルダーにかかるまでしっかり差し込み固定する



④サンシェード取り付けホックが見えるまで、ヘッドレストを引き上げる。

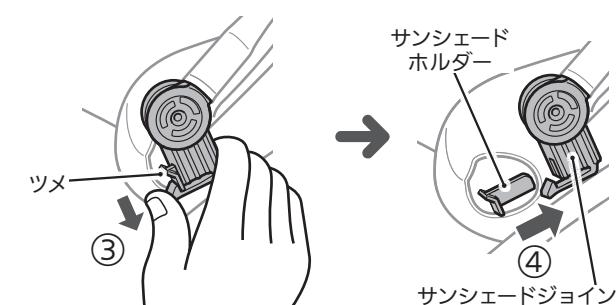
⑤サンシェード背面の左右のホック(4か所)を、ヘッドレストカバーのサンシェード取付ホックに取り付ける。



⑥サンシェードジョイントがサンシェードホルダーにしっかり固定されており、サンシェード背面の左右のホック(4か所)がヘッドレストカバーに取り付けられていることを確認する。

〈サンシェードの取り外しかた〉

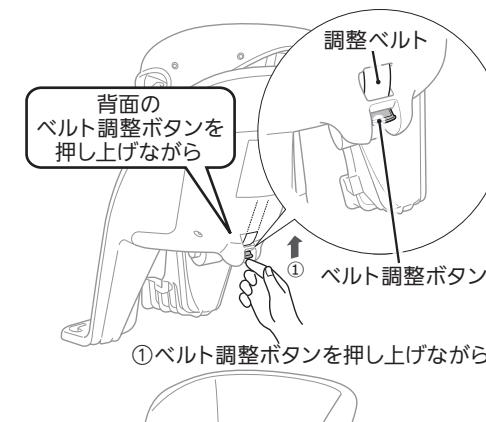
- ①サンシェードを小さくたたむ。
②サンシェード背面の左右のホック(4か所)をはずす。
③サンシェードジョイントの下端のツメを指先で引く。
④サンシェードホルダーから取りはずす。



幼児を乗せるとき

(お客様がご確認ください)

1. シートベルトを緩める



- ①シートバック背面のベルト調整ボタンを押し上げながら、



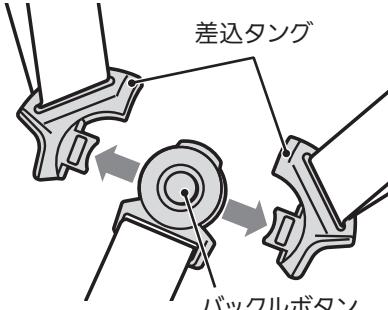
- ②左右のシートベルトの両方を持ち、手前に強く引き、緩める
お願い

●肩ベルトカバーを引いても、シートベルトは緩まず、肩ベルトカバーがチャイルドシートから外れてしまうので、ベルトだけを引いてください。



- 爪を伸ばしていたり、付け爪をしている場合、拘束や調節操作をするとき十分注意する
(巻き込まれ、けがをするおそれ)

2. ハンドルの旋回が抑制されていることを確認し、幼児を座らせる



- ①シートベルトを緩めたあと、差込タングを抜く。

お知らせ

●バックルは幼児の力で、外れないように固くしてあります。



- ② チェストクリップを外す。
- ③ 幼児を深く座らせて、左右の腕をシートベルトに通す。
- ④ 左右のシートベルトがねじれていなか確認する
- ⑤ 左右の差込タングを『カチッ』と音がするまで、バックルに差し込む。
- ⑥ 左右の差込タングを引っ張り、バックルから外れないか確認する。

ご注意

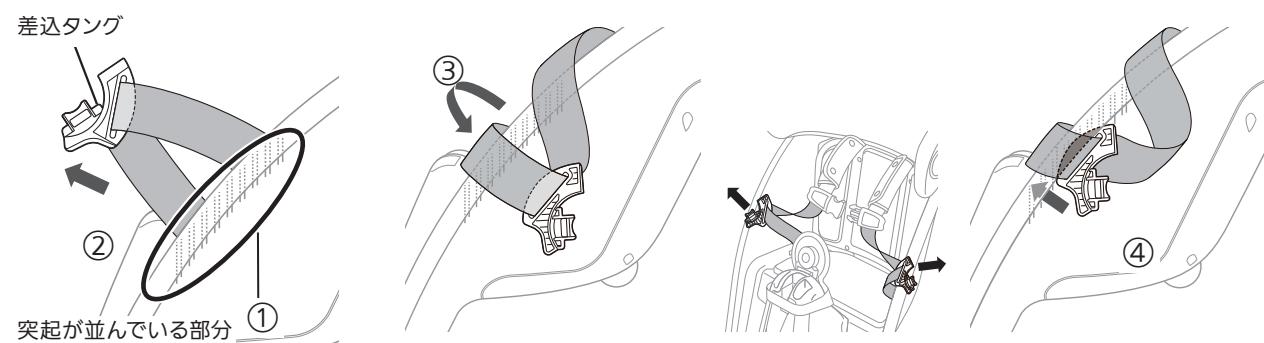
- 幼児を乗せ降ろしの際は不安定になります。転倒には十分お気をつけください。



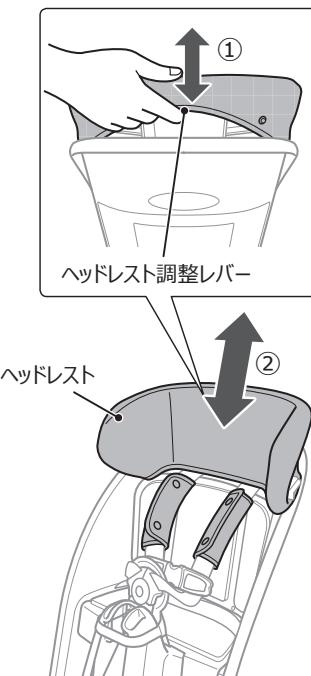
- 必ず守る
- 左右の差込タングを、確実にバックルに差し込む
(幼児が抜け出し、落下しけがをしたり、シートベルトが首に巻き付き、窒息するおそれ)

乗せやすくするためのポイント

- ① チャイルドシート本体フチ部分の外側には突起が並んでおり、差込タングを挟み込んで保持できるようになっています。
- ② シートベルトの差込タングを外に引き出します。
- ③ 差込タングをチャイルドシート外側に巻き込むように取り出します
- ④ 突起が並んだチャイルドシートの端部分に差込タングを挟み込んでシートベルトを外に出すことで、幼児が乗せやすくなります。



3. ヘッドレストの高さを調整する



お願い

- ヘッドレストの高さ調節と連動してシートベルト(肩部)の位置も変わります。下記を目安にヘッドレスト位置を調節してください。

- ① ヘッドレスト調節レバーを引きながら、

- ② ヘッドレストを上下に動かし位置を調節する。

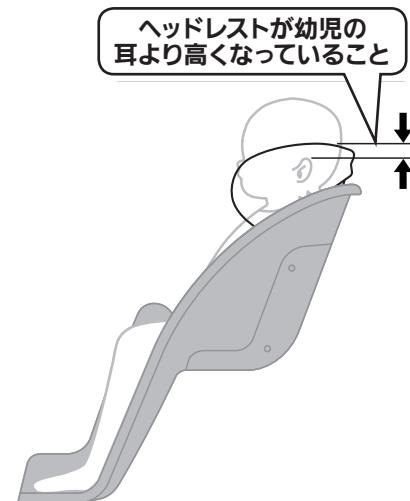
お知らせ

- シートベルトを緩めないと、シートベルトが突っ張り、ヘッドレストの高さ調節ができません。



- 必ず守る
- ヘッドレストの上下スライド時に手や指の位置を確認する
(指を挟んだり、けがのおそれ)

高さの目安



- 必ず守る

- ヘッドレストが幼児の頭部中心(耳の上)よりも高くなっているか確認する
(自転車が転倒した場合、頭を打ち、けがをするおそれ)

- ヘッドレストの高さ調節をしてからシートベルトの調節をする
(シートベルトの締め過ぎや緩みによる落下により、幼児がけがをするおそれ)

4. シートベルトの長さを調節する



- ① シートベルト(腰部)は、腰部に密着させる。
- ② シートベルト(肩部)は、必ず肩の中央に十分かかるようする。
- ③ シート背面の調整ベルトを引き、幼児とシートベルトの間に、大人の手のひらが入る程度にシートベルトの長さを調整する。
- ④ ベルト調整ボタンを押し上げ余分なベルトを収納する。
- ⑤ チェストクリップをとめる。

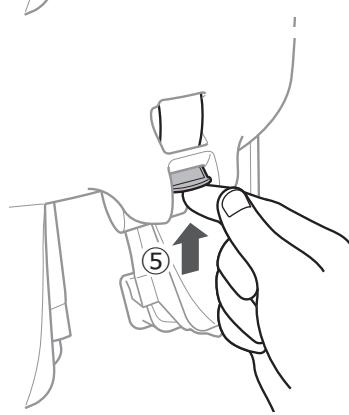
お願い

- 調節ベルトを引いたとき、チェストクリップが引っ掛かり、しっかりと締めきれない場合は、チェストクリップを上に移動させてください。



警告

- 禁止** ■ チェストクリップの位置を高く上げ過ぎない
(シートベルトを締めたとき、幼児ののどを突き、けがのおそれ)
- 必ず守る** ■ 調節ベルトを引き、シートベルトを幼児の体格に合わせ調節する
(長過ぎると幼児が飛び出してけがをしたり、首に巻きつき窒息するおそれ)
- チェストクリップは必ず付ける
(幼児が抜け出し、落下しけがのおそれ)



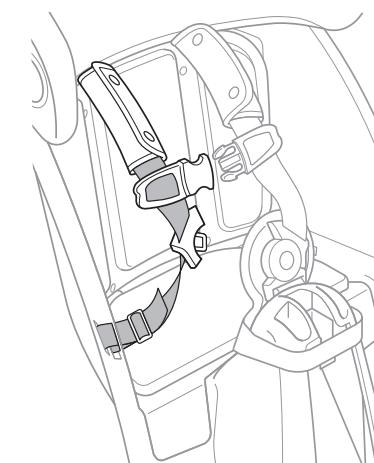
お願い

- このチャイルドシートには5点式シートベルトが採用されています。必ずシートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)が止まっているか確認してください。
- 幼児の首に巻き付いたり、体を圧迫したりしないように注意してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- 乗車中に幼児がバックルを外さないように注意してください。
- 必ず、シートベルトを装着してから使用してください。
- シートベルトの寿命は約2年です。異常がなくても定期的に販売店にて交換してください(品番: NCB348S)

お知らせ

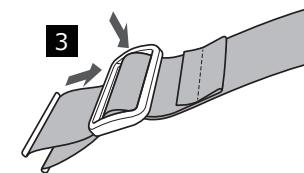
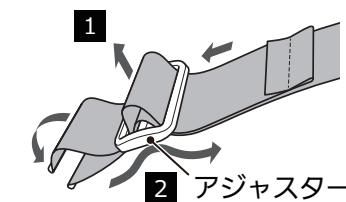
- シートベルトを限界まで緩めても長さが足りない場合は、アジャスターで長さを調整してください。

5. アジャスターによるベルト長さの調整方法



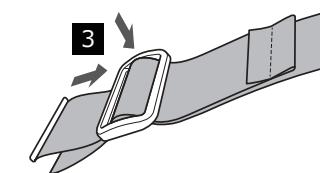
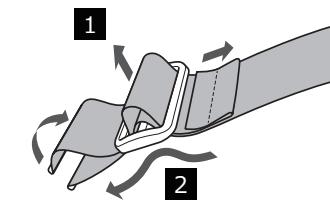
緩めるとき

- ①アジャスターを通っているベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをたるませる。
- ②下側を通るベルトを矢印②の方向に送ってベルトの有効長さを長くする。
- ③適切な長さになったら、たるませたベルトを引き締める。



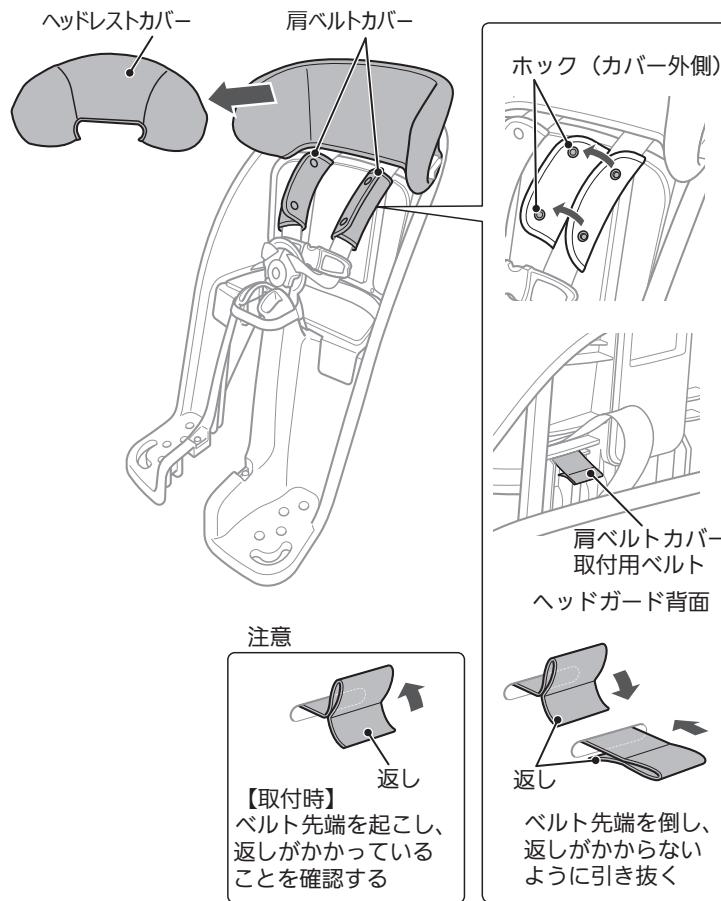
締めるとき

- ①アジャスターを通っているベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをたるませる。
- ②下側を通るベルトを矢印②の方向に送ってベルトの有効長さを短くする。
- ③適切な長さになったら、たるませたベルトを引き締める。



チャイルドシートのカバー類のお手入れのしかた

■カバーの外しかた・取り付けかた



■カバーの洗いかた

- ヘッドレストカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、洗濯用ネットに入れて、洗濯してください。ほつれや傷みの原因になります。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 洗濯の際は、中性洗剤をお勧めします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので、使用しないでください。
- 製品の特性上、色あせことがあります。
- 色落ちすることがありますので、ほかの洗濯ものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 十分にすぎず、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

お知らせ

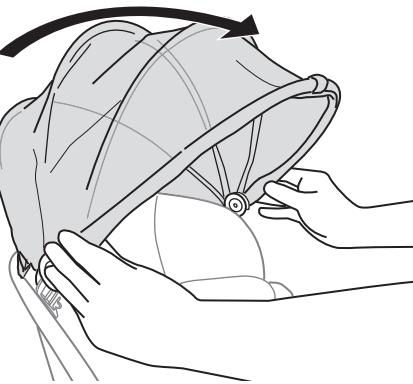
- 縫製品は雨や汗でぬれたまま放置したり、皮脂などの汚れが原因でカビが発生することがあります。こまめにお手入れをすることをお勧めいたします。

お願い

- 縫製品がほつれたり、破れたりした場合は交換してください。（☞15ページ）

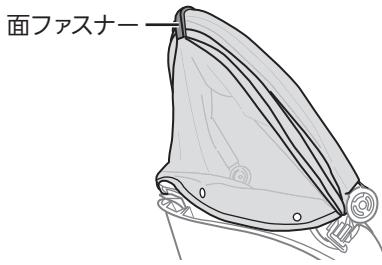
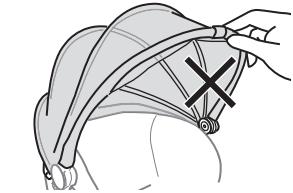
サンシェードの使いかた

図のようにサンシェードの両端を持って広げてください。



お願い

- サンシェードが破損するおそれがありますので、サンシェードの先端を持つて広げないでください。



チャイルドシート本体・パッド・グリップバーのお手入れのしかた

- 通常は、固くしぼった布で水ぶきしてください。

- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

お願い

- パッド類（頭部、側面部、背部、座面部）は炎天下で放置した場合に色あせや変形があります。パッド類を交換する際は下記純正品を使用してください。

■ 別売品（交換用純正品 および 幼児用ヘルメット）

交換用純正品品番

品名	品番
シートクッション（ブラック）	NCD559K
シートクッション（ブラウン）	NCD560K
ヘッドレストカバー（ブラック）	NCD565K
ヘッドレストカバー（ブラウン）	NCD566K
肩ベルトカバー（左右セット / ブラック）	NCD567K
サンシェード	NCB347S
交換ベルトセット（2年に1回交換）	NCB348S

幼児用自転車ヘルメット（別売品オプション）

XS サイズ	S サイズ（バイザー付き）
NAY009（マットブラック）	NAY015（マットブラック）
NAY010（マットレッド）	NAY016（マットレッド）
NAY011（マットネイビー）	NAY017（マットカーキ）
NAY012（マットカーキ）	NAY018（マットオレンジ）
NAY013（マットイエロー）	
NAY014（マットオレンジ）	

● SG 基準認証済み製品です。

サンシェードのお手入れのしかた

- サンシェードは液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

品 番

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

■転居や贈答品などでお困りの場合も、
まず、お買い上げの販売店へ

ご相談ください。

それでもお困りの場合は右記の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

サポート総合窓口
<https://panasonic.jp/support>

商品に関する、お客様ご相談窓口



【受付時間】9:00～18:00 月～土曜日（祝日・正月三が日を除く）

電話 **0120-781-603** (通話無料)

※ 携帯電話・PHS からもご利用になれます。



■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 **072-977-1603**

072-977-5611

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいているります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号